

や く し ま こ く り つ こ う えん 屋久島国立公園だより

2022年11月号



かんきょうしょうやくしましぜんほごかんじむしょ やくしませかいいさん
発行：環境省屋久島自然保護官事務所（屋久島世界遺産センター内）
〒891-4311屋久島町安房2739-343 TEL:46-2992 FAX:46-2977



屋久島国立公園
Facebook



屋久島国立公園パークボランティアの会 口永良部島で海岸清掃

10月22日～23日に、屋久島国立公園パークボランティアの会で口永良部島に行き、西之浜の清掃を実施しました。当初、10月14日の口永良部島民による海岸清掃（環境省マリンワーカー事業）にあわせて実施予定でしたが、フェリー欠航のため1週間延期して、パークボランティア5名、環境省職員6名で行いました。公益財団法人公益推進協会の助成事業「自然公園等保護基金」を活用し、2日間で1トンフレコンバック16袋ものゴミを回収することができました！

しかし、浜にはまだ多くの漂着ゴミが残されています。漂着ゴミが目立つのは漁業のゴミと家庭から出るプラスチックです。プラスチックゴミがポイ捨てされると雨や風によって河川に入り、海に流れ出ます。四方を海に囲まれた島の海岸には、海に流れ出たゴミが沢山漂着します。清掃できない場所に漂着し、回収できないゴミも沢山あります。

こうしたゴミが、海を汚し、海の生き物に悪影響を与え、島の暮らしや私たち自身にもまわりまわって影響を与えます。多くのプラスチックゴミに対して私たちは今何ができるのでしょうか…。



プラスチック・スマートを日常に

～着任のご挨拶～

この度、屋久島自然保護官事務所へ赴任しました竹中康進（たけなかやすのり）と申します。

今までに北海道や長野県、沖縄県の西表島などで勤務してきました。屋久島は学生の頃から何度か訪れたことがある思い出の場所で、また再び屋久島に来ることが出来、とてもわくわくしています。

来年は世界自然遺産登録30周年を迎えますが、屋久島の自然環境保全と地域振興に少しでもお役に立ちたいと思っています！見かけたらお気軽にお声かけ下さい。



国立公園保護管理
企画官（首席）

ヤクシカの計画捕獲を実施します

環境省をはじめ環境行政機関は、世界自然遺産地域や国立公園でのヤクシカによる植生などへの影響を軽減するために、ヤクシカの計画捕獲を行います。

捕獲実施時は、実施区域の道路閉鎖や周知看板の設置、安全監視員の配置を行い、安全確保に努めますが、近隣に来られる方は、危険ですので周知看板や安全監視員を見かけたら実施区域に近づいたり、立ち入らないようお願い致します。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

■期間：11月19日（土）～20日（日）
12月3日（土）～4日（日）

■場所：平野地区の林道

■問い合わせ：環境省屋久島自然保護官事務所



冬山登山の注意点



11月に入ると、すっかり日も短くなり冬が近づいているのを実感します。雨が多い屋久島では、冬季に寒波がやってくると雨が雪となり、山岳部の高標高域では気温が低いことから雪が溶けず積雪となります。

冬になると、冬山を楽しむために入山される方がいますが、山岳部は天気が変わりやすいうえに、低温になる、降雪や積雪で道が不明瞭になる、登山道が凍結し滑りやすいなど、春～秋の登山と比べても危険が増します。また、遭難事故が発生した場合でも、悪天候時には救助活動も大変困難となり、救助者も危険にさらすこととなります。

積雪期では、登山口に雪がない場合であっても、稜線部は降雪や積雪などで安全で快適に登山ができる状況にない恐れがあるため、安易な入山は控えたいです。

※特に以下のような条件の場合、屋久島のどの山であっても登山計画の見直しをお願いします。

- ・寒波や寒冷前線通過など、天候悪化が予想される場合
- ・初めてのルートやなれていないルートを計画している場合
- ・冬山装備、緊急時用装備が十分でない場合
- ・冬山に向けての体力、体調が十分でない場合
- ・単独登山の場合



コラム - サンゴの白化

2022年夏、島沿岸部の広い範囲でサンゴの白化現象が見られました。場所によっては全体の半分以上が白化していました。

サンゴの白化とは一体何でしょう？表現は雑になりますが、サンゴ本体はイソギンチャクに近い「動物」で、体の中に「褐虫藻」という植物プランクトンを住まわせ、栄養を作り出してもらっています。褐虫藻は日光と海水から栄養を作り出す「ソーラーパネル」だと想像してください。海水温が高い期間が長く続くと、暑いのが苦手な褐虫藻はサンゴの体から出て行き、サンゴが真っ白くなります。この状態を白化といいます。白化したサンゴはすぐに死んでしまうのではなく、1ヶ月くらいは耐えます。台風の高波などで水温が下がってしばらくすると褐虫藻がサンゴに戻り、白化が回復することもあります。

10月に海中を見たところ、9月に比べ白化はだいぶ回復しています。残念ながら死んでしまったサンゴは全体の1割くらいかなという印象です。一時はどうなることかと思いましたがサンゴたちの生命力に驚かされました。

